

発行日 2024年10月15日
 発行人 田辺 証夫
 編集人 小堀 日出春

VOICE

NO. 136

LMI世界宣教会
 LMI Japan
 振替 00110-1-91993

LMI世界宣教会はリーベンゼラ・ミッション・インターナショナル（LMI）に加盟している日本の宣教団体です。

バングラデシュ医療宣教師 近藤 恵

見よ、わたしは新しいことを行う

みなさまお元気ですか？暑い夏でしたね。さて、前回のVOICEは「荒野の38年」と題して書きました。桜川宣教ネットワークの祈祷会で申命記2章7節からメッセージが語られ、イスラエルの民は、カデシュ・バルネアで約束の地に入るように言われた主の命令に従わず、その後38年間荒野をさまようことになった。でもこの38年間、主はともにおられ、祝福の時でもあったというメッセージです。そして私が2021年11月にバングラデシュから帰国し、新たなビザを待っていた3年に近い時も祝福の時であったと思い返したのでした。

そして7月末、ずっと待っていたバングラデシュNGOビューローからの書類が与えられました。これをもってすぐ日本のバングラデシュ大使館に行き、これで必要な書類はほぼそろっていることを確認しました。そして日本で与えられるビザは、3か月の滞在を許可するだけのものであり、有効期限も短いので、出発直前にビザを申請することを勧められました。

さて出発するにあたって一番心配なのは高齢の母です。私は7月いっぱい実家に帰ることができていませんでした。8月の初旬帰ってみると、母はお風呂場の近くで動けなくなっていました。熱中症のようです。お茶やリンゴジュースを飲んで奇跡的に動けるようになりましたが、その後もだるさは続き、また猛暑日も続いたので、8月は毎週私が和歌山の実家に帰っていました。感謝なことに母は徐々に元気になっています。

今の私の計画としては10月中に出発すること。かつて語学研修のためトロントに出発したのは、2007年の10月

でした。そしてバングラデシュ1期に出発したのも2008年の10月です。10月は私の新しい出発の時であることが多かったのです。何も心配がないわけではありません。母もそうですが、バングラデシュは長く続いたハシナ政権が倒されました。本当の民主主義の国になるという希望があるものの、不安定ではあります。派遣教会の自治医大前キリスト教会も1月からは無牧になってしまうかもしれません。私自身は、約3年間たまに手術の助手をすることがあるくらいで、外来の小さな手術以外はやっていません。虫垂が破裂して、とんでもなくひどくなったバングラデシュの患者さんたちの手術をする技量はもうないかもしれません。でも自分の力がそがれた状態で、どう主が働かれるのかも楽しみです。新しいことをされようとしている主に期待し、歩んで行きたいと思います。お祈りを感謝します。

「見よ、わたしは新しいことを行う。今、それが芽生えている。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは荒野に道を、荒れ地に川を設ける。」
 （イザヤ書 43:19）



ジョイランクーラ・クリスチャンホスピタル前を行き交う人々とオートリキシャ(中央)＝昨年6月撮影)

【近藤恵医療宣教師を支える会】

〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1

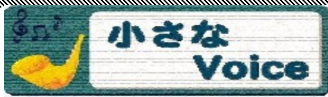
☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付

E-mail: meg0_02007@yahoo.co.jp

【現地】 Garo Baptist Convention
 Christian Health Project
 Joyramkura.p.o. Haluaghat 2260
 Mymensingh, BANGLADESH

【祈りの課題】

- 近いうちにビザが与えられ、バングラデシュに出発できるように。
- 高齢の母が守られるように。
- ジョイランクーラのドクター・ルーシーとドクター・タポシュのために。
- 派遣教会の自治医大前キリスト教会のために。
- 母と姉の救いのために。



小倉 泉
LMI世界宣教会理事

「無駄にならない働き」



私は大学1年のときに、主の恵みによって救われました。生粋の道産子が大阪という大都会で、しかも言葉も文化も違う中で、一人で暮らすというのは予想以上にストレスでした。そこに高校時代の同級生との失恋も絡み、疎外感、孤立感に打ちのめされたのです。そんな中で聖書のことばによって、神がおられ、私のことを見ておられ、私の声を聞いていて、私に伝えてくださることを知ったのです。心の重しが取れて天に羽ばたくかのような解放感を味わいました。

その後バプテスマを受け名実ともにクリスチャンとなった私は、高校時代の友人に自分の近況を伝える手紙を書きました。自分が故郷を遠く離れた地で経験したこと、苦勞から解放され今は教会という新しい家族の中で楽しんでいること、神を信じることの平安と喜

びを、できれば知ってほしいという思いでした。その手紙を書いた後、関西と東北で遠く離れていましたし、私には私の、彼には彼のそれぞれの歩みもあり、次第に彼とは疎遠になり音信も途絶えてしまいました。

それから20数年、その友人から突然手紙が届きました。封印に祈の字が使われていました。びっくりして開けてみると、彼が医学の研修でアメリカ留学をした後、信仰に導かれクリスチャンになったことの報告でした。そして「君は忘れていないかもしれないが、君がクリスチャンになった時、証しの手紙を僕に送って来た。その手紙が僕の心のどこかにひっかかっていたんだと思う。あの手紙が僕の救いのきっかけになった。」そんなことが書いてありました。

自分が忘れていたことを主にお詫びしつつ、同時に、主がそれを用いて彼の救いのきっかけとしてくださったことを感謝しました。私になした証しのわざは、たとえ私が忘れてしまっても、主はそれを忘れることなく、主の 때가満ちたとき、それを用いてくださったのです。私の小さな働きも主の前に決して無駄ではない。そのことを覚えたいと思います。

(自治医大前キリスト教会牧師)



スペイン

神が私たちと共に歩み始まりました！

地中海に面したスペイン・バレンシア州のベニカルロに住む女性の証しを紹介します。

「初めまして、バレリア（仮名、写真左）と申します。私はペルーの首都リマで9人兄弟の8番目として生まれました。私が小学生の時に母が亡くなりました。私は父の新しい妻とうまくいかず、私たち兄弟の間にも連帯感はほとんどありませんでした。私は大学を卒業して国家公務員になりました。当時のパートナ-

との間に娘のナタリア（仮名、写真右）が生まれました。娘が6歳のとき、彼は私たちのもとを去りました。私は仕事が忙しく、出張も多かったため、ナタリアは近所の人の世話になりながら育ち、幼い頃から自分のことは自分ですという生活でした。数年後、私は別の男性と知り合い、息子をもうけましたが、この関係も長くは続きませんでした。突然、職も失い、絶望の中で、「どうすればいいのだろう？」と自問しました。

すでにスペインに住んでいた姉妹のおかげで、私たちはスペインに引っ越すことができました。彼女の勧めで、2023年のクリスマス直前、初めてベニカルロの「プント・デ・エンクエントロ」教会を訪れました。それ以来、私の人生は大きく変わりました！実生活に即

した説教は、私の日常生活を問い直し、私にチャレンジを与えています。子どもたちも私も、赦しと恵みのメッセージに飢えていました。ナタリアと私は、イエスに従いたいと思い、6月に洗礼を受けました。振り返ってみて、私はこう言えます。『私はもう終わりだと思っていたのに、神は私たちと共に新しい人生を始めてくださいました！』」 **グロース・アンドレアス：LMI-Jチームリーダー**



地中海で洗礼を受けたバレリアさん(左)とナタリアさん。中央はリーベンゼラ宣教団のスハラ宣教師

New York Report

ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師
笹川雅弘・由利子

日本語を学ぶアメリカ人が 教会員として加入

6歳の頃から日本語を学び始め、10歳のときに受洗、今年の4月からNYめぐみ教会の主日礼拝に毎週出席されてきたKirk Piersol兄(35)＝写真中央＝がNYめぐみ教会のメンバーとして今後、主にお仕えしていくことが、8月18日に持たれた教会総会で承認されました。在米邦人宣教の働きに、日本を愛するアメリカ人が加えられたことは不思議な主の恵みです。今後のPiersol兄の教会生活と奉仕が祝福されることを願っています。



夏の子どもバイブルキャンプ

夏休みは日本へ一時帰国する駐在員家族が多いため、学校が始まる直前頃である8月27日に夏の子どもバイブルキャンプを行いました。教会員の子ども2名と駐在員の子どもたち15名、計17名が参加しました。通常は中高生が数名ボランティアとして手伝ってくれるのですが、

【祈りの課題】

- 新たに教会員として加入したKirk Piersol兄の教会生活の祝福のため
- 夏のバイブルキャンプに参加した子どもたちご家族と教会との関係が今後も祝福され、新しい家族が導かれるように。
- 秋のゴスペルワークショップ・コンサートに参加するメンバーと教会との関係が深められ、信仰が与えられる方が起こされるように。
- 日本で療養中の笹川由利子師の守りといやしのために。
- 宣教活動継続のため経済的が必要が満たされるように。

今回は12歳の子ども2名がボランティアとして手伝ってくれました。今回の聖書のテーマはノアの箱舟で、子どもたちは熱心に聖書のメッセージに耳を傾けました。工作、ヨーヨー釣り、スイカ割りなどのお楽しみタイムも大いに盛り上がりました＝写真下。



10月から秋のゴスペル ワークショップ開始

10月3日から秋のゴスペルワークショップが始まり、計10回のリハーサルの後、12月14日(土)に教会でクリスマスゴスペルコンサートを行う予定です。今回も、Gregory KellyさんとTimothy Rileyさんがコンビを組んで指導をしてくださいます。最近の秋のワークショップには大人・子ども合わせて70名以上が参加するので少ない教会員での運営は大変ですが、毎週の練習ごとに語られる聖書メッセージが届くことを願っています。練習だけでなく、ソプラノ、アルト、テナー各パートグループ内での交流も自然発生的に行われるようになっているので、あらゆる機会に主が一人一人に語りかけてくださることを願っています。



盛り上がった昨年のクリスマスゴスペルコンサート

笹川雅弘宣教師を支える会 (かもし聖書教会)

電話 : 045-931-3312

Mail: kimikuma1126@gmail.com

HP: <https://nymissionsasakawa.wixsite.com/support>

LMJ祈禱会の恵み

世界情勢の不安、円安による日本からの支援の困難さ、宣教師の健康の試み、派遣教会のチャレンジ、新しい宣教師の発掘の課題・・・宣教の最前線には、様々な課題が存在します。理事会では、そのような悩みに向き合わせられる中で、「まずは祈りにこそ集中すべきではないか」と気付かされました。こうして始められたのがオンラインによるLMJ祈禱会です。

2021年5月に開始された当初は、理事会メンバーだけで画面上に集いましたが、現在では支援して下さる方々を加えて、毎月15名前後の方々と祈りを重ねています。宣教師たちも参加して、機関誌VOICEだけでは詳細に伝えることが難しい個人的な祈りの課題も挙げられ、質問の時間を取りながら率直な交わりが形成されています。支援者と宣教師が直接コンタクトを取ることができたり、支援者同士の交わりが深められたりと、多くの恵みがあります。宣教の最前線はむしろ祈りの場にあることを、この祈り会を通して教えられ続けています。
(熊久保公義・LMI世界宣教会副理事長＝かもい聖書教会牧師)

オンライン祈禱会の様子▼



LMJ祈禱会

毎月第一金曜日 午前9:30～10:30
 ※2024年12月のみ13日に開催予定
 オンライン (ZOOM) のリンク情報は
 LMJ@outlook.jpにお問い合わせいただければ、お送りいたします。毎月参加が難しい方や一度だけの参加であっても大歓迎です。

理事会便り

★毎月第一金曜日行われている「LMJ祈禱会」に是非ご参加ください！
 お問い合わせは事務局まで。

★近藤恵医療宣教師：ビザの書類は整いました。ふさわしい時にバン格拉デシュに向かうことができますように。またジョイランクーラ・クリスチャン・ホスピタルの必要のためにお祈り下さい。同刻の祈りにもご参加ください。

★笹川雅弘・由利子宣教師夫妻：
 単身赴任中の雅弘宣教師の働きのため。由利子宣教師の療養と癒や

しのため。グリーンカード取得を願っています。たんぼぼミニストリーの祝福のため、人的・経済的な必要が、記録的な円安が続く中でも満たされるように続けてお祈り、お支えください。

★各宣教師を支える会、理事会：宣教師を正しくサポートするために用いられますように。予算作成のため。宣教師志願者が起こされた時の十分な備え。

★立石尚志協力理事の回復のために。

★ホームページが公開されています (https://liebenzell.jp/)。働きが周知され、祈りと支援の輪

が広げられるために用いられますように。

★JOMA、メンバーケアミーティングなどの他団体との働きが祝福されますように。

★世界宣教への思いがある方、ご連絡ください。共に祈りましょう。

【祈り】「わたしはあなたの神主である。わたしがあなたをエジプトの地から連れ上った。あなたの口を大きく開けよ。わたしがそれを満たそう」と命じてくださる主に心から期待して、なすべきわざに励みます。

(田辺証夫・LMI世界宣教会理事長)

LMI世界宣教会 (LMJ)

(LMJ 本部 & ☎226-0003 横浜市緑区鴨居2-29-4(かもい聖書教会気付 ☎&Fax 045-931-3312)
 会計事務局) E-mail: LMJ@outlook.jp

→ 献金送金の際、「ゆうちょ銀行通帳」から電信振替(ATM)をご利用されると振替用紙より割安で送金できます。

(LMI) <http://www.liebezell.org/> (ドイツ語), www.liebenzell.ca/ (英語) 郵便振替 00110-1-91993「LMI世界宣教会」

【常任理事】田辺証夫(理事長 lmijapan.tanabe@gmail.com) 熊久保公義(副理事長&書記) 村上正道(会計)

トーマス・ベック(LMI担当) 小倉 泉 (Bg) 立石聖美 【協力理事】木島正敏 兵藤陽子 立石尚志 小堀日出春(Voice編集)

【監事】野村卓一、佐藤陽一 【会計事務】安藤真里 佐藤かおり